

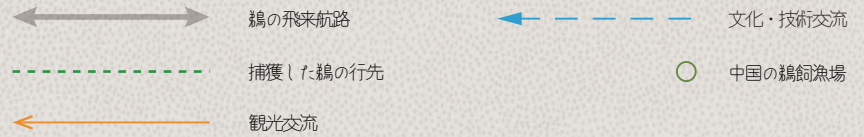
日本の鵜飼文化の位置づけ

現在では、出鵜飼というものが存在し、現在行われている十か所限定で鑑賞することができ、また鵜飼サミットなどの規模を交えて日本国内だけではなく、文化・技術の交流によるミニニテでも開催されている。
鵜を捕獲して運搬する段階から、鵜の飛来経路などを文化圏と広げネットワークを形成。
文化圏と広げネットワークは、鵜を捕獲するところから展開されていくから、ウミヅ捕獲場が必要拠点となる。
鵜の呼び声、ウミヅ捕獲場と鵜飼コミュニティを繋げていくことが目的と、鵜飼という文化と繋げていく基盤を作る。
そのためには文化の拠点が必要。また文化団体の存在や継承することと地域としても牽引し、継いでいく想と、ウミヅ捕獲場という想とを繋げていく。

日本の鵜飼開催地

- ① 福岡県朝倉市・筑後川鵜飼
- ② 大分県日田市・日田鵜飼
- ③ 山口県岩国市・錦帯橋のう飼
- ④ 広島県三次市・三次の鵜飼
- ⑤ 愛媛県大洲市・大洲観光鵜飼
- ⑥ 京都府京都市・嵐山鵜飼
- ⑦ 京都府宇治市・宇治川鵜飼
- ⑧ 岐阜県岐阜市・ぎふ長良川鵜飼
- ⑨ 岐阜県関市・小瀬鵜飼
- ⑩ 愛知県会場市・木曾川のうかい
- ⑪ 山梨県東八代市・石和鵜飼

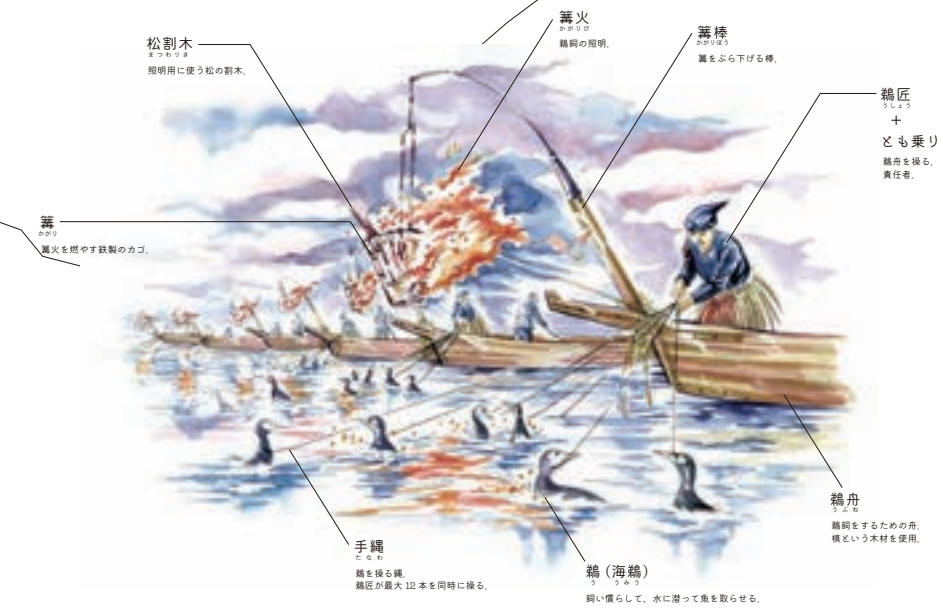
名称	実施場所	実施主体	特徴とキーワード
筑後川の鵜飼	福岡県朝倉市	原鶴屋温泉旅館同組合	漁獲物も市場に卸す「生鮮漁業の鵜飼」
日田鵜飼	大分県日田市	鵜飼保存会	大型遊覧船による鵜飼鑑賞
錦帯橋の鵜飼	山口県岩国市	岩国市	400年の歴史、鮎魚と1丁の鵜飼
三次の鵜飼	広島県三次市	三次市観光協会	日本一長・手織の活用、鵜飼と遊覧船の並走
大洲の鵜飼	愛媛県大洲市	大洲観光協会	「あわせ鵜飼（鵜舟と客船が併走）」
嵐山の鵜飼	京都府京都市	嵐山遊船株式会社	平安時代からの歴史ある鵜飼
宇治川の鵜飼	京都府宇治市	宇治市観光協会	「女性鎮座」「人工孵化」「煮し鵜飼」
長良川鵜飼	岐阜県岐阜市	鎮座	宮内庁式部職鎮座「姥がらみ」
小瀬鵜飼	岐阜県関市	小瀬鵜飼保存会	宮内庁式部職鎮座「姥がらみ」と「付け見せ」
木曾川鵜飼	愛知県大山市	大山市・各務原市	大山城と背景にした養鵜飼
富吹川鵜飼	山梨県富吹市	富吹市	「徒歩鵜飼」



各地の鵜飼、漁の実施主体と特徴

日本の鵜飼技術

- 移動手段による分類
 - 「舟鵜飼」鵜舟と利用
 - 「徒歩鵜飼」河川や川を歩いて移動
- 漁業時間による分類
 - 「昼川」昼間に漁を行う
 - 「夜川」夜間に漁を行う
- 手織の有無による分類
 - 「繫ぎ鵜飼」鵜匠に鵜に手織をつける
 - 「取も鵜飼」手織を使用しない
- 鵜の使役方法による分類
 - 「逐鵜」鵜を使って利に鵜を追いつける
 - 「獲り鵜」鵜に自由に鵜を捕らせる
- 時代はさまざまだが、かつては多くの地域で行われていたことが分かる。

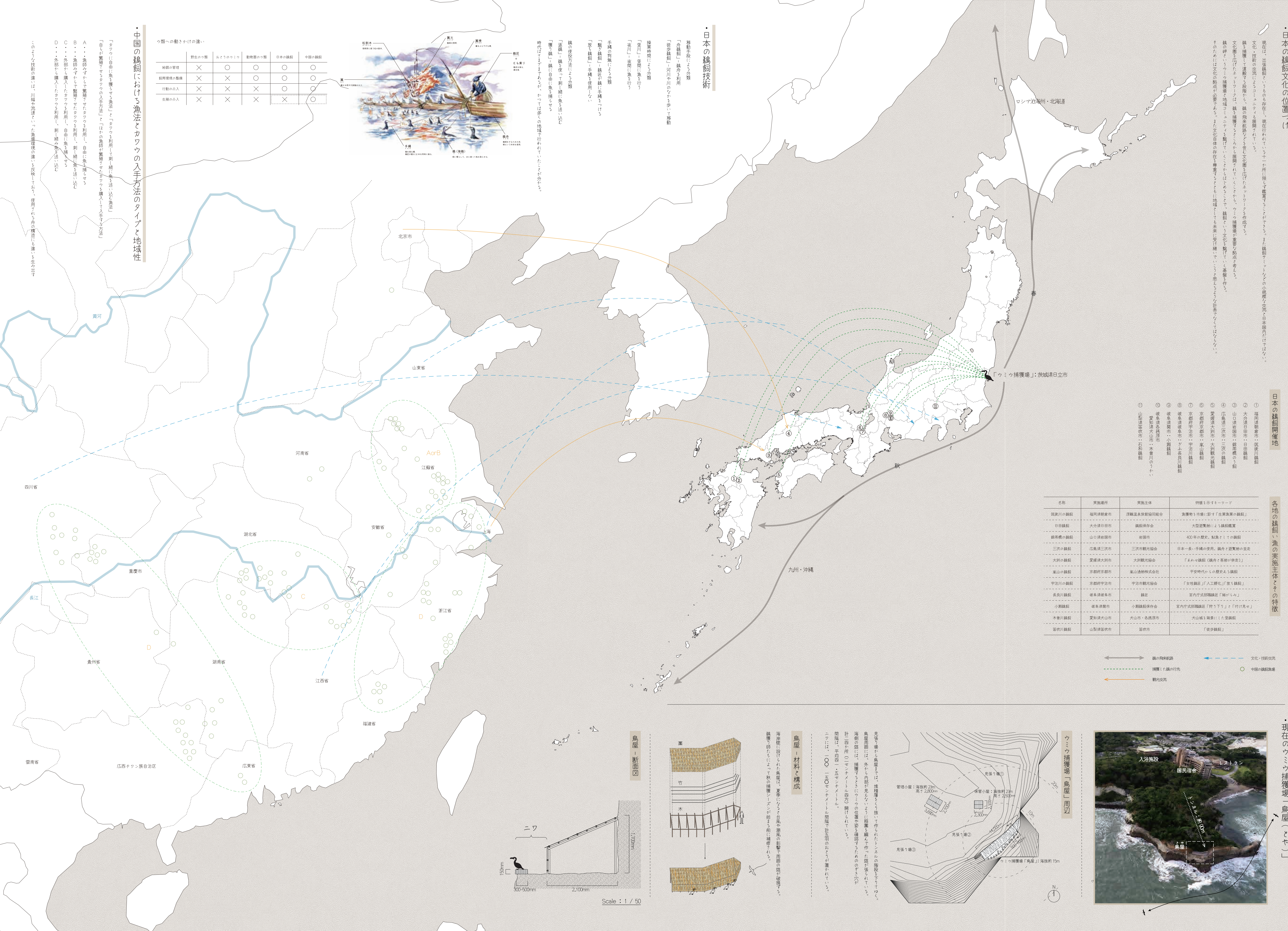


ウツンへの動きかけの違い	野生のウツン	おとうのウツン	動物園のウツン	日本の鵜飼	中国の鵜飼
給餌の管理	×	○	○	○	○
飼育環境の整備	×	×	○	○	○
行動の介入	×	×	×	×	○
生類の介入	×	×	×	×	○

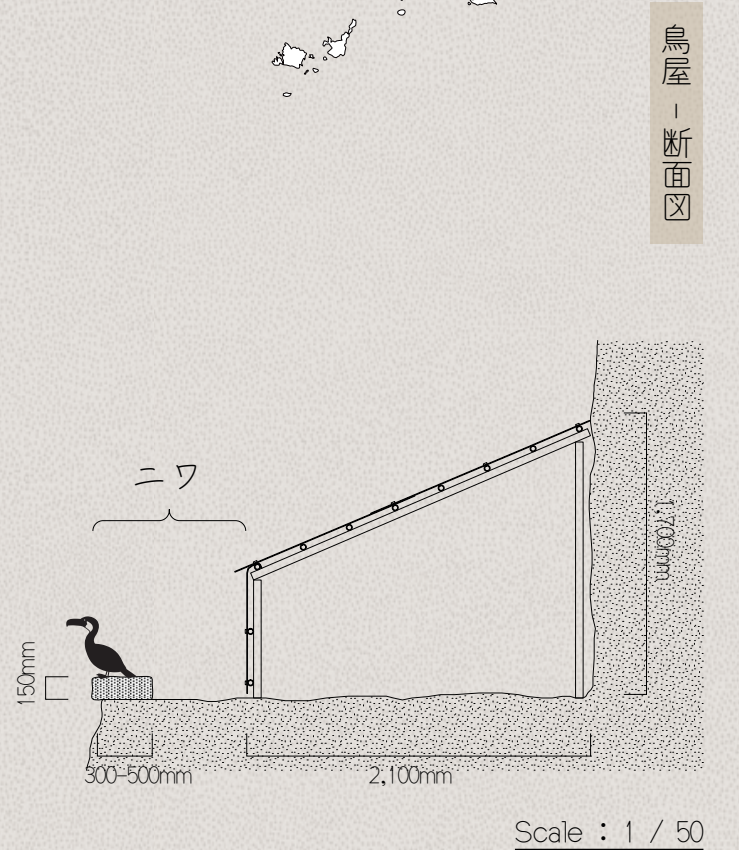
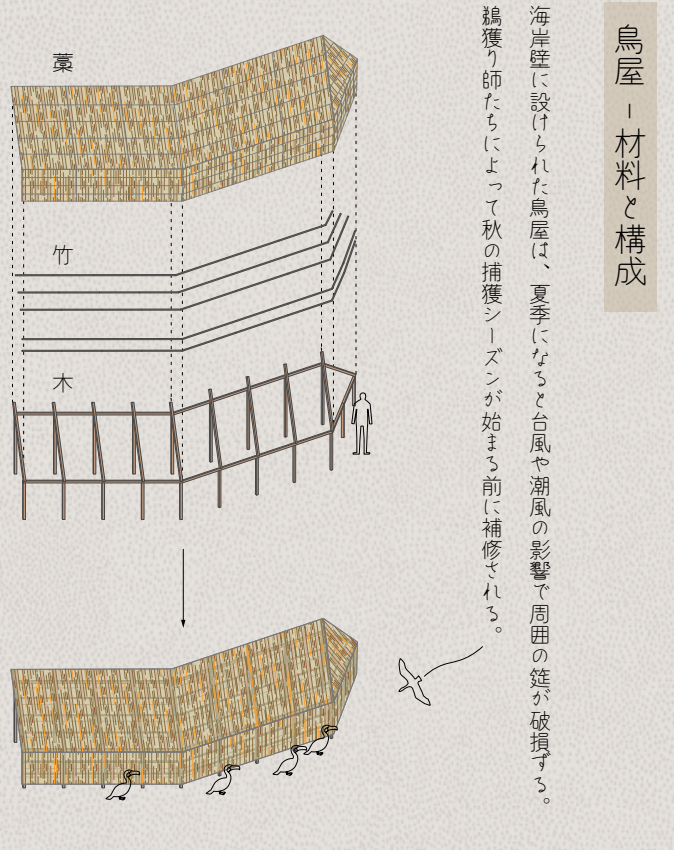
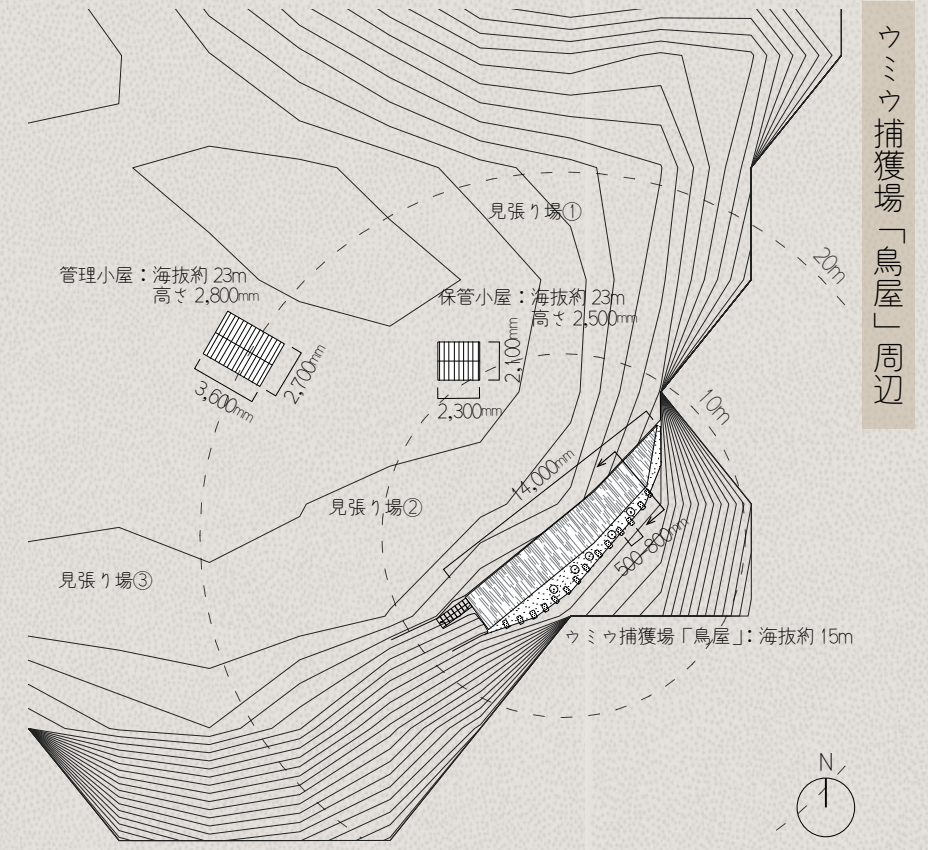
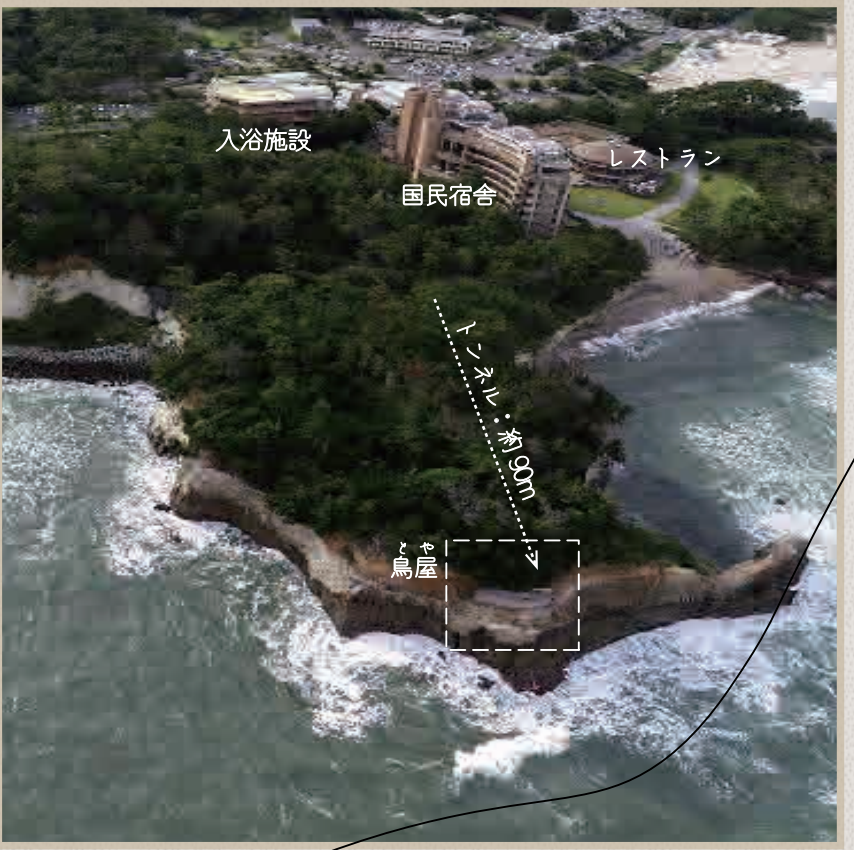
中国の鵜飼における漁法とカワウの入手方法のタイプと地域性

- A・・・漁師が自ら鵜飼させたカワウを利用し、自由に鵜を捕まえる。
- B・・・漁師が自ら鵜飼させたカワウを利用し、利に鵜を追いつける。
- C・・・外部から購入したカワウを利用し、自由に鵜を捕まえる。
- D・・・外部から購入したカワウを利用し、利に鵜を追いつける。

このような技術の違いは、川網や漁網といった漁具環境の違いと反映しており、使用される舟の構造にも違いがみられる。

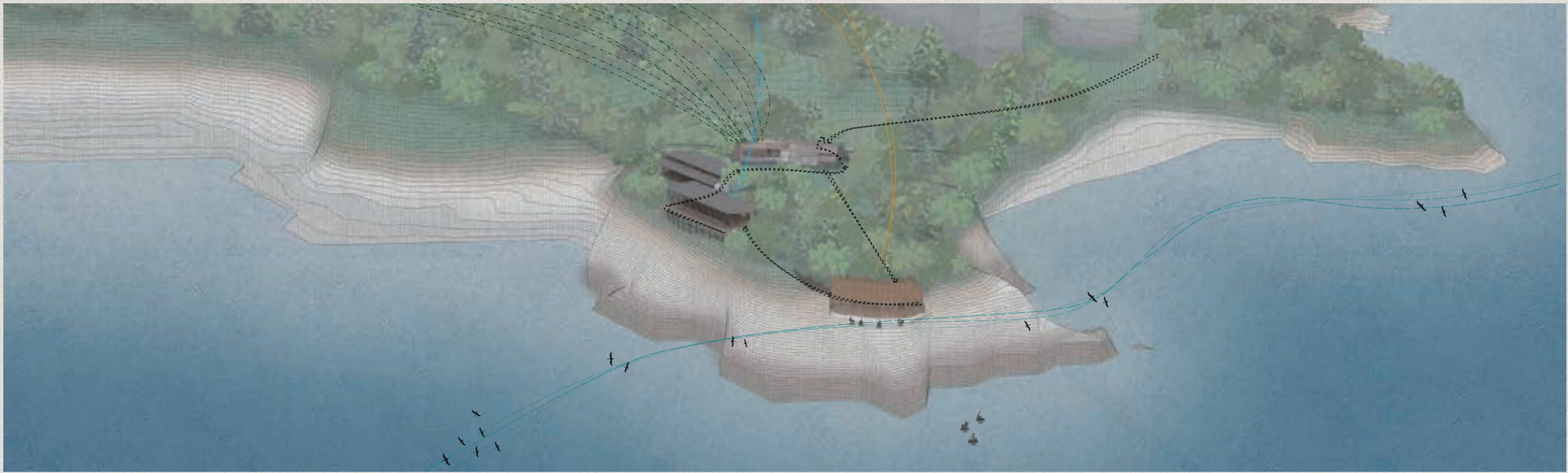


現在のウミヅ捕獲場「鳥屋（とや）」

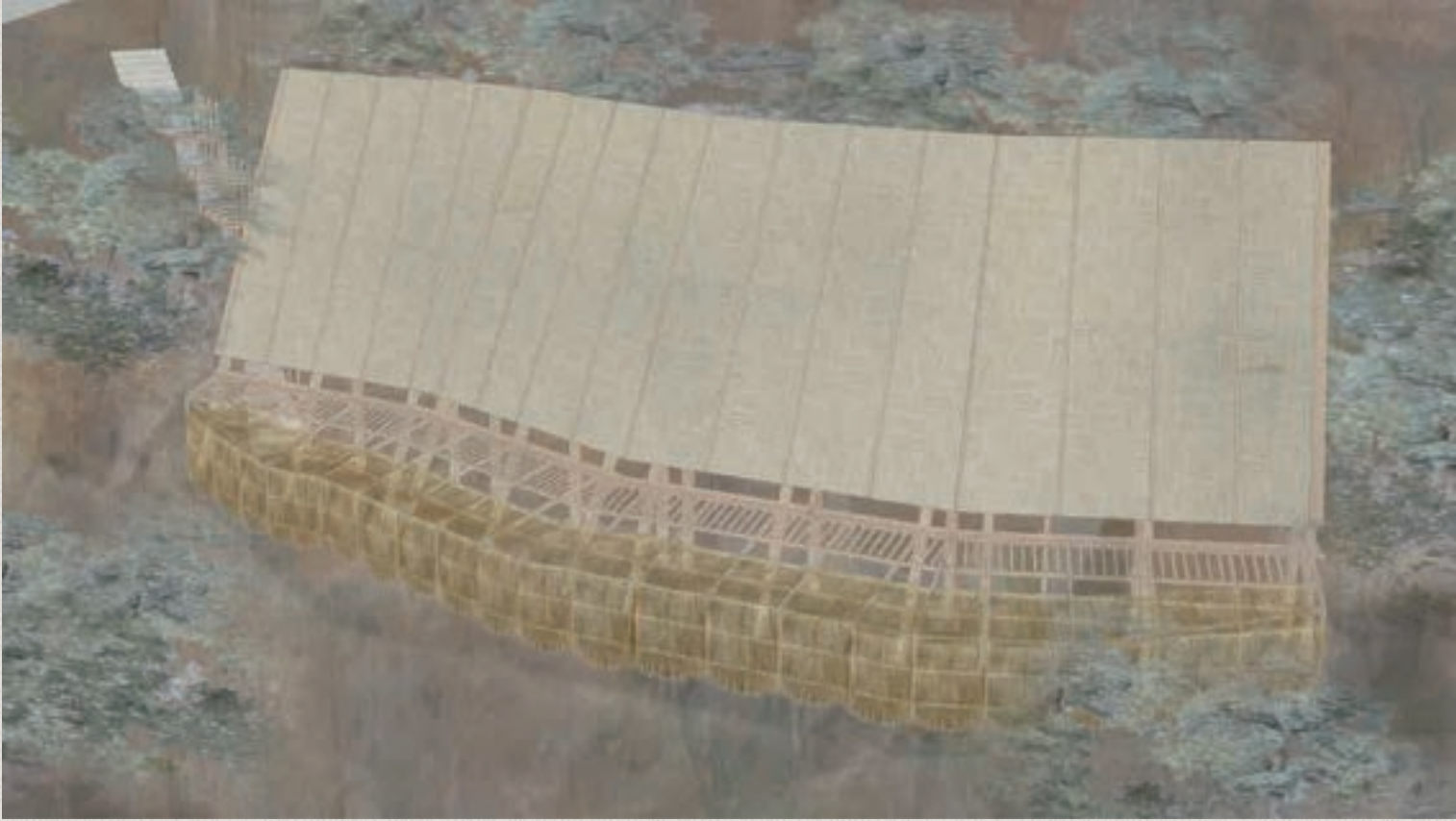




S = 1/50 新ウミウ捕獲場（鳥屋）、ギャラリー A-a 断面図



2、新ウミウ捕獲場（鳥屋） 外観パース



全て自然素材とする。垂直方向に崖に沿った木の壁には、いづれ直物が生い茂る。定期的な人の手で修復することで、経緯をつなぐ。

2、新ウミウ捕獲場（鳥屋） 内観パース



葦の隙間やルーバーから程よく落ちる光と海を切り取る開口。

2、新ウミウ捕獲場（鳥屋） 内観パース

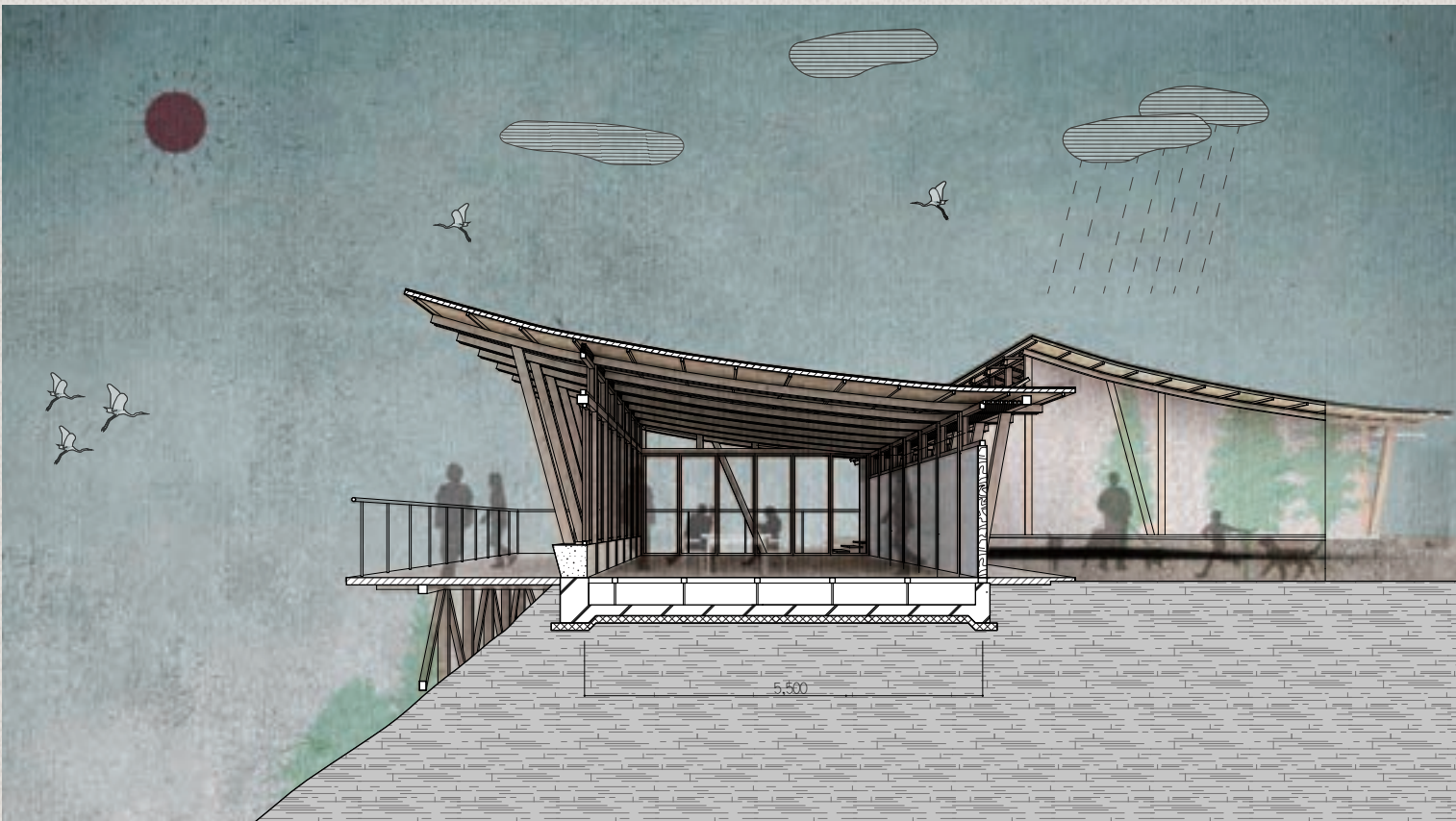


崖上につながる、既存の道を延長し、構造補強する。

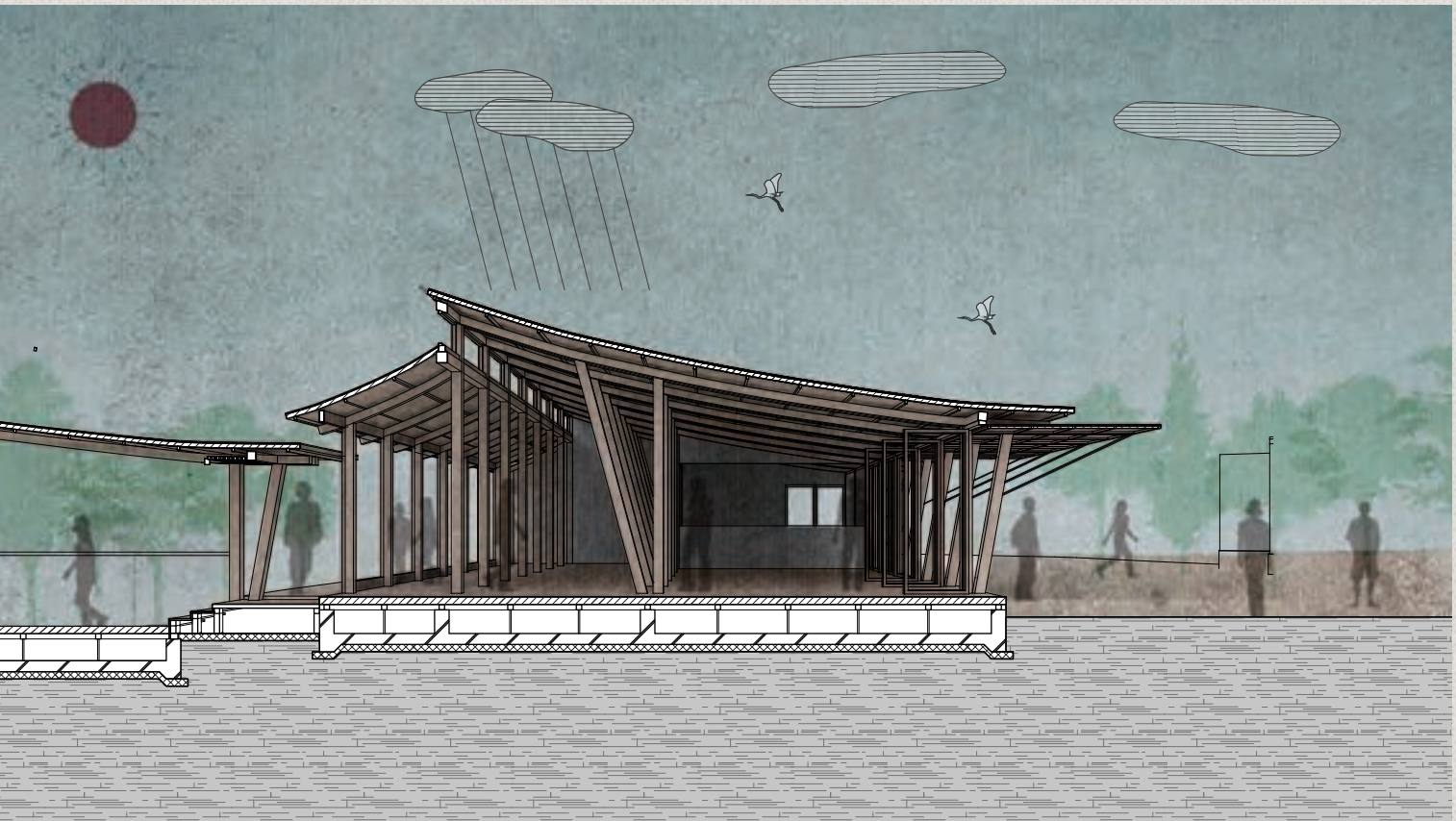
1、ギャラリー 外観パース



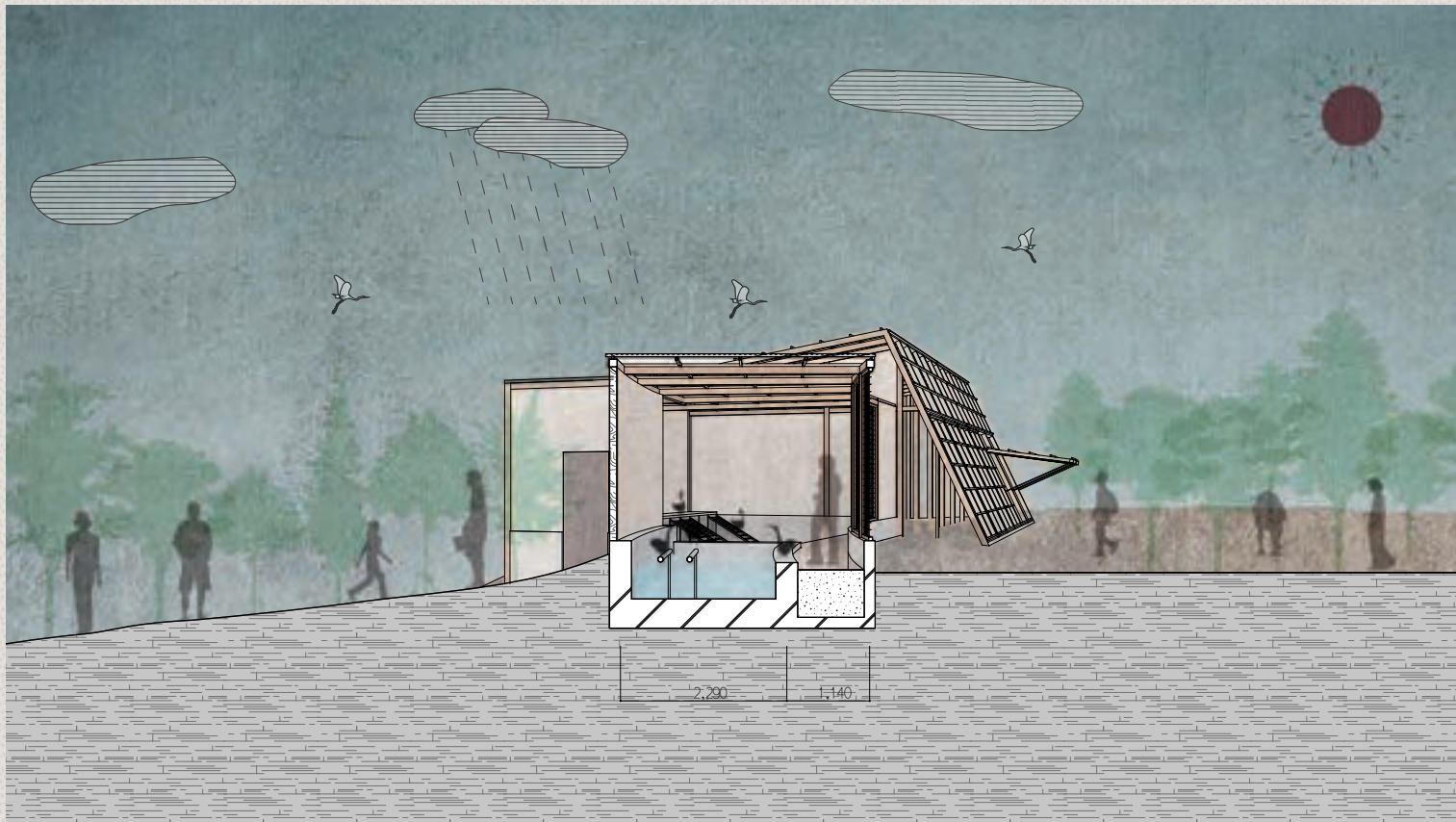
葦の隙間やルーバーから程よく落ちる光と海を切り取る開口。



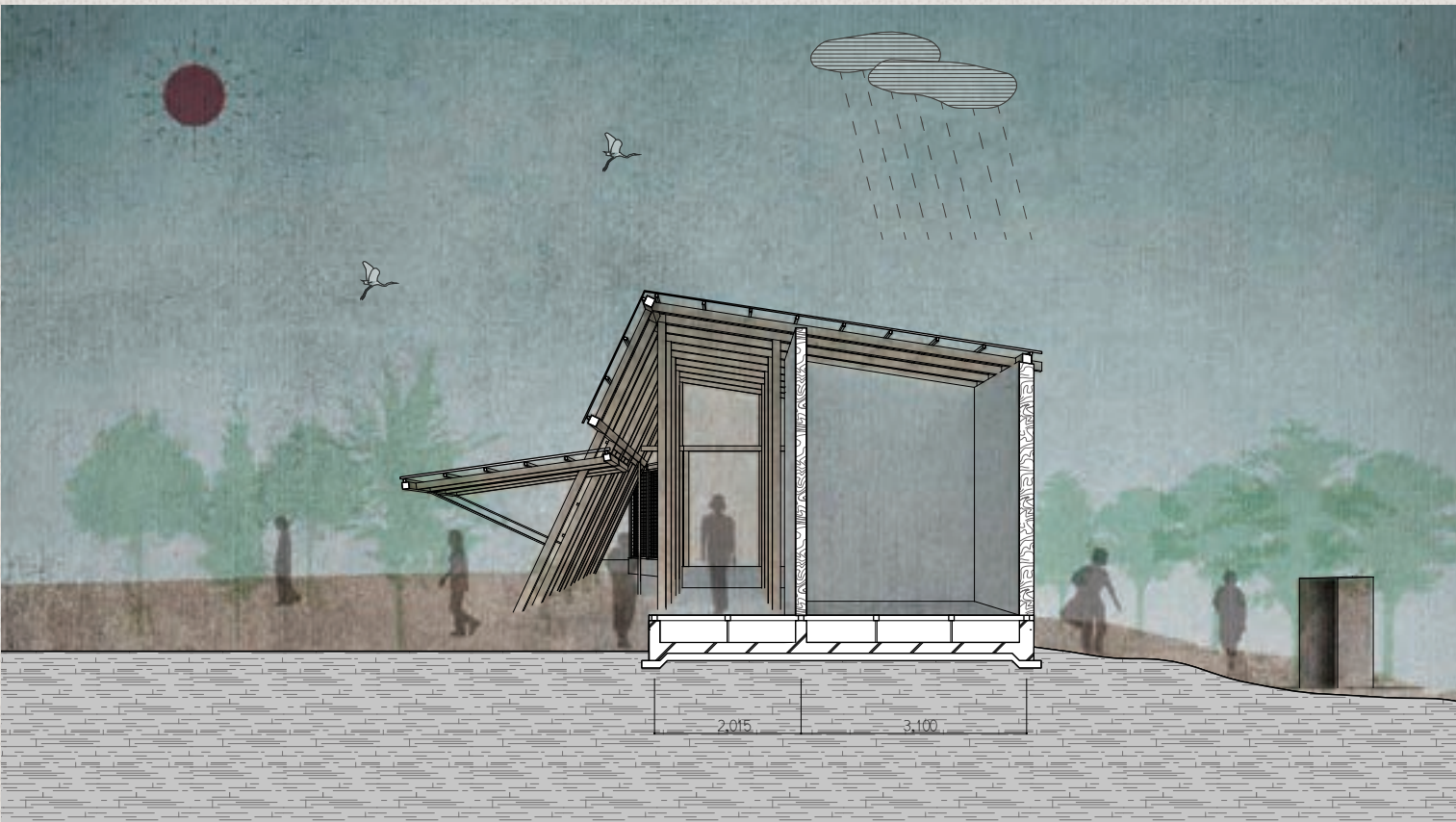
S = 1/50 集会所、展望デッキ B-b 断面図



S = 1/50 農産物直売所 C-c 断面図



S = 1/50 鴿の小屋 D-d 断面図



S = 1/50 植物ハウス E-e 断面図

3、集会所、農産物直売所、展望デッキ 外観パース



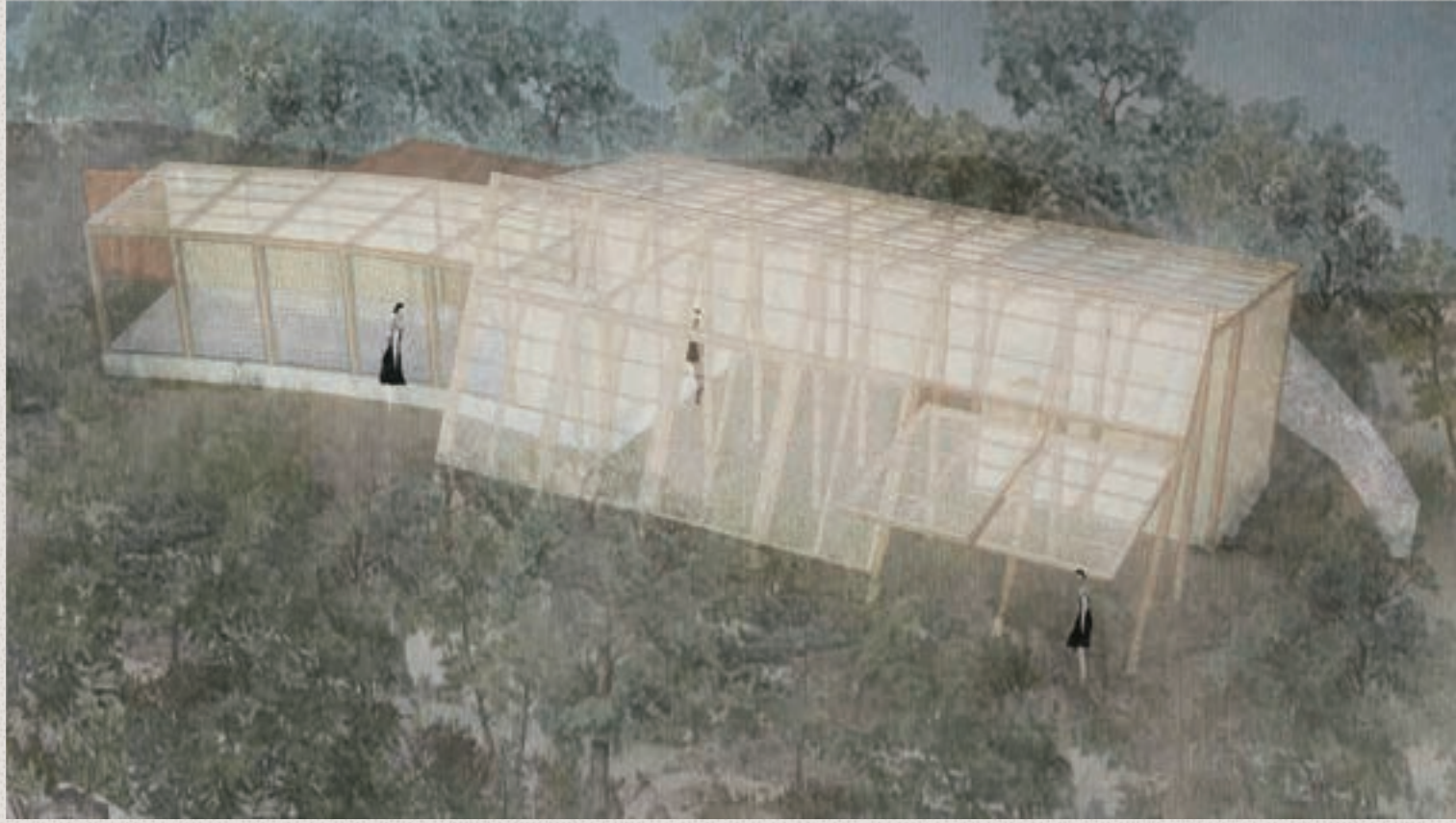
鴿飼文化と敷地に根差した形状や素材とする。二重の梁で高さを抑え、ブレースで視線を遮らないよう下で確保する。

3、農産物直売所 外観パース



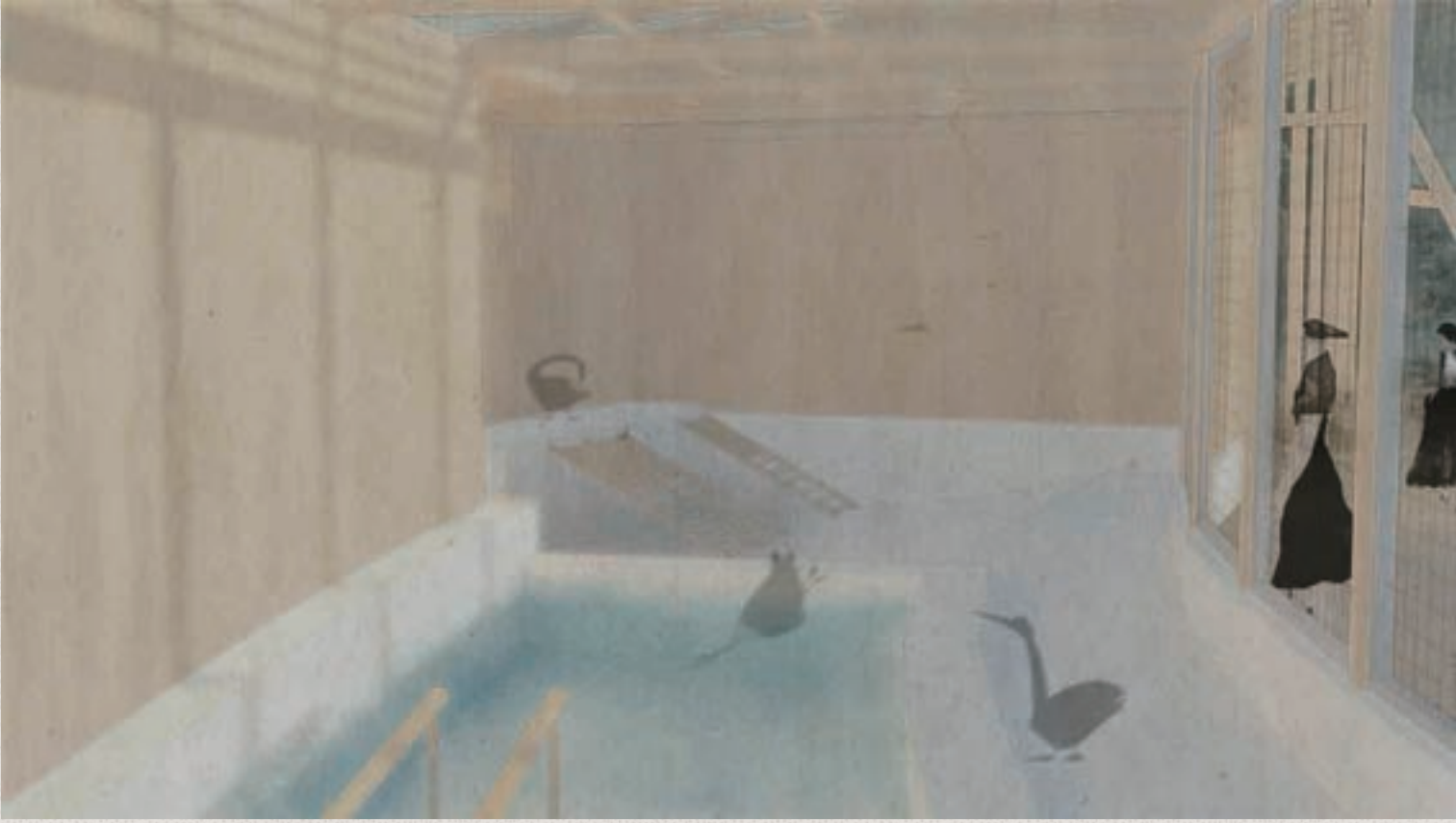
戸を上げて、農産物のイベント等を行える。

4、鴿の小屋、植物ハウス 外観パース



ここは簡易な構造とする。木々が生い茂る場所であるため、波板ポリカを使用し日光、天空光を確保する。

4、鴿の小屋 内観パース



鴿飼文化や鴿の生態に沿う。

